

名張市高齢者保健福祉計画（第9次改訂）・介護保険事業計画（第8次改訂）（素案）に係るパブリックコメント意見募集結果及び計画（案）について

案 件	名張市高齢者保健福祉計画（第9次改訂）・介護保険事業計画（第8次改訂）（素案）		
募集期間	令和5年11月17日～同年12月18日		
意見の件数 （意見提出者数）	13件（2人）		
意見の取扱い	修正	素案を修正するもの	4件
	既記載	既に素案に盛り込んでいるもの	3件
	参考	素案に盛り込めないが、今後の参考とするもの	4件
	その他	素案に反映できないが、意見として伺ったもの	2件

市民等の意見の概要	件数	意見に対する名張市の考え方
【P8】（介護保険推進協議会関係） 家族等介護者の就労に向けての調査やコメントがあるが、介護保険推進協議会メンバーに労働分野（雇用主、雇用者）の方は入っているのか。介護離職を防ぐためには、雇用主の理解も必要と思う。	1件	【その他】 現在の介護保険推進協議会の委員の構成員は、労働分野の雇用主、雇用者という観点からの選出をしていませんので、今後の参考とさせていただきます。
【P8】（介護保険推進協議会関係） 会議開催の案内・傍聴案内はあったのか。会議の議事録は、計画や介護保険料が議会を通過してからしか公開されないのか。意見を交わした内容を知ることによって素案の内容を理解できるように思うが如何か。	1件	【その他】 介護保険推進協議会開催の傍聴案内については、市役所の掲示場へ掲示していますが、今後は、市のホームページにも掲載させていただきます。また、会議録にあっては、遅滞なく公開していきます。
【P27】（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査関係） 「日常生活圏域別でみる生活支援活動によるサービスの利用率」について、分析のコメントでは「認定率」とあるが表に記載がない。現行の計画で、今後経年比較により地域別に	1件	【修正】 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査については、要介護認定を受けていない高齢者を対象としており、前回の調査結果で見えていた経年比較の要素から認定率を除くこととしました。分析内容については、訂正

<p>分析する必要があるとしているが、分析をしたのか。</p>		<p>します。</p>
<p>【P44】(基本理念関係) 基本理念について、「自分らしく」には、自己責任のイメージもあり、他者に助けを求めることにためらいを感じるように思う。名張市は、地縁血縁のない市民が多いので、早め早めにSOSが出せれば、みんなが住みやすい地域になるし、いわゆる処遇が難しい市民が少なくなるのではないかと思う。</p>	<p>1件</p>	<p>【修正】 本市の理念において、高齢者自身の思いを大切にした自己選択、自己決定ができる暮らしを支援していくことを目指し、記載をしています。お互いの存在を認め合い、「助けて」が気軽に言える地域の関係づくりに取り組んでいくことを追記します。</p>
<p>【P53～56】(介護予防関係) 介護予防には、介護認定を受けていない少し元気な高齢者の自立した生活を継続するための行政や民間サービスの情報を広めることが、予防策の一つになるのではないか。</p>	<p>1件</p>	<p>【既記載】 本計画「(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進」の55ページ「介護予防普及啓発事業の推進」や「(5) 初期相談対応」62ページの取組にある「まちの保健室」において、高齢者の自立した生活継続のために、情報提供の発信も含め取り組んでいます。</p>
<p>【P55】(介護予防関係) 介護予防教室について、年に1回の運動では、介護予防効果は期待できないと思う。終了後に継続できる活動の案内や立上げも必要ではないか。 また、リスクのある中高年運動指導を一般人に任せるのは大丈夫なのか。安心安全な無理のないストレッチ、心肺機能向上にいい運動、筋トレ、そして楽しく動いてもらうための技術が予防教室には必要である。効果が実感できるプログラムや適切な指導を行う人材が必要と思う。色々な企画で楽しくネットワークが広がればいいと思う。</p>	<p>1件</p>	<p>【参考】 本市においては、介護需要が高まる75歳以上の後期高齢者人口が急増しており、また、軽度の要支援認定者数も著しく増加してきていることから、介護を必要とする状態に至る手前の段階で、保健師や理学療法士、管理栄養士等の専門職が介入した支援プログラムが実践できる場が必要と考えています。今後、介護予防と保健事業の一体的実施事業の取組を更に強化させ、教室等の運営に関する検討を進めていきます。介護予防効果を期待するためには指導内容とともに、活動の頻度も重要です。あわせて、個別性を捉えた適切な指導を行える人材の確</p>

		保が必要であることから、本計画期間中に介護予防の取組に必要な環境整備を行っていきたいと考えています。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
<p>【P55】(介護予防関係)</p> <p>高齢化に伴い疾病を抱え、介護予防や重症化予防の活動に参加する方が多くなっていく。運動教室や栄養教室、生活習慣病の学習、ハイキングなどを組み合わせた楽しく継続できる連続教室の開催がよいのではないかと。</p>	1件	<p>【参考】</p> <p>介護予防や重症化予防に向け、運動・栄養に関する知識が実践的に学べる機会や場所づくりは非常に重要と考えます。仲間と共に楽しく継続できる環境整備を検討するための参考にさせていただき、重症化予防に向けた取組の強化を図ります。</p>
<p>【P61】(低栄養防止事業関係)</p> <p>60歳位から虚弱予防の視点が大事と思う。低アルブミン血症は余命を短くすると言われていたことから、市の健診で血液検査の項目にアルブミン値を追加し、正常値以下の方に栄養不足を改善する働き掛けを行ってはどうか。</p>		<p>【既記載】</p> <p>「低栄養防止事業の推進」に記載の取組の中で、名張市国民健康保険加入者の特定健診・後期高齢者健診項目から、75歳以上の方にアルブミン値、BMI、体重減少などから低栄養対象者に保健指導を実施しています。</p>
<p>【P61】(糖尿病性腎症重症化予防関係)</p> <p>糖尿病と言われ続けて治療をせずに糖尿病性腎症になっている人がいる。糖尿病の食事療法はカロリー制限高たんぱく質食であるが、糖尿病性腎症の食事療法は高カロリー低たんぱく質食である。糖尿病性腎症に罹患した場合、早期に、腎臓を保護する治療や食事に変更すると病状も改善されると思う。重症化予防として、生活習慣病を放置させないことが必要である。</p>	1件	<p>【既記載】</p> <p>「糖尿病性腎症重症化予防」記載の取組として、特定健診において、受診勧奨対象者に対して、手紙や電話等で受診勧奨を実施するとともに、医療機関受診者でコントロール不良者に対して、かかりつけ医と連携しながら、保健指導を実施しています。</p>

<p>【P62】(初期相談対応関係) 公的なサービスとして行うので、「民間サービスなどの情報提供」を行う場合、中立・公正性を担保するための取組みはどのようにしているのか。市民の生命、尊厳と財産を守る立場の介護福祉にこそ、公正性が求められると考える。中立・公正性の担保、合理的説明のつく情報提供、支援であることを期待する。</p>	<p>1件</p>	<p>【修正】 「民間サービスなどの情報提供」の部分は、民間サービスに限る情報提供と捉えられる可能性のある表現であるため、「公的保険サービス等を含め相談者に必要な情報提供を行う」という表現に修正します。</p>
<p>【P70】(在宅医療・介護連携関係) 人口動態統計では、老人ホームと自宅で亡くなった方を併せて、在宅での死亡としている。自宅だけでなく、介護保険施設、居住系施設で亡くなる方も増えてくると考えられる。医療機関以外を「在宅」ととらえて在宅医療・介護連携の充実が求められると考えるので、このことについて、加筆することを検討いただきたい。</p>	<p>1件</p>	<p>【修正】 医療機関外でお亡くなりになる方の割合は、今後ますます増加することが見込まれます。人口動態統計での扱いに準じ、医療機関以外での場所での死亡は在宅として捉えた在宅医療・介護連携の充実について加筆します。</p>
<p>【P75】(配食事業関係) 高齢者の配食会社を選べるようにする。市の配食サービスは1地区1社。なぜ選べる余地がないのか。他市では、地域包括支援センターから何冊も宅配食のパフレットをもらい、その中から試食し、選んで決めた。市が認定している会社の食事内容、サービス内容チェックはしているのか。何社か配食会社を選べるような環境にしたほうが食事内容やサービスの向上につながると思う。</p>	<p>1件</p>	<p>【参考】 市の配食サービス事業は、栄養バランスの取れた食事提供と併せて配達時に行う定期的な見守り支援を主な目的として実施しています。市では、安否確認と夕食として適切な時間帯に配達ができる時間を確保するため、配達地域を二分し、委託しています。事業者選定に当たっては、配達体制や食事内容等について、管理栄養士等が審査し、プロポーザル方式により決定しています。市内に、地域の配食ボランティアや、複数の民間事業者があり、様々なニーズに応じた食事の提供について、市の配食サービス事業利用日</p>

		<p>以外に利用いただけるように、地域包括支援センターやまちの保健室、市の窓口で案内しています。より良い事業実施に向けて、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>【P 7 6】(地域の支え合い活動関係)</p> <p>地域の活動には、共に動いてくれる若い仲間が必要である。地域の支え合いが事業として運営できる組織づくりが大切であると感じる。給料の払えるものでないと長続きはしないので、市民活動やボランティアを有償で行うことに理解を広めること、人の力を活かす参加と共助の仕組みづくりをお願いしたい。</p>	<p>1 件</p>	<p>【参考】</p> <p>多くの地域で担い手が不足している状況にあり、市の総合計画においても若い世代を含めた住民が参画できる街づくりを進めているところです。今後、担い手育成に向けた取組を進めていくに当たり参考とさせていただきます。</p>